

試合No.	B4	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会									
		期 日	令和5年2月11日(土)			会 場		小田原アリーナ				
男子1回戦		CC	阿久沢 尚夫		U1	大川 尚		U2	三浦 弘義			
			チーム名			1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score
			実践学園(東京)			16	12	23	22			73
			県立日川(山梨)			13	17	15	11			56

実践学園(東京)

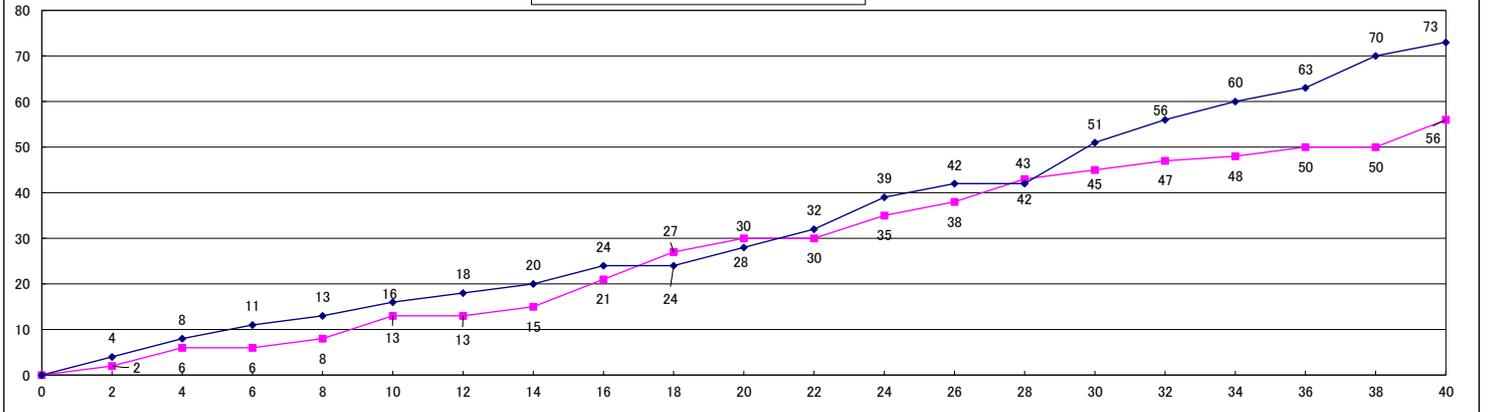
氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
雪竹 晴太	4																	
北川 堅資	6	4	0	0		2	4	50%	0	0		1	0	2	0	0	1	0
金谷 諒平	11																	
渡邊 颯太	*14	13	1	3	33%	4	8	50%	2	6	33%	1	5	0	1	0	3	1
江川 晴	*15	17	0	0		8	12	67%	1	2	50%	2	15	0	0	5	5	1
浅岡明日蘭	22																	
佐藤 琉琥	32																	
南澤 空(CAP)	*37	19	2	9	22%	5	8	63%	3	4	75%	0	3	7	2	1	7	3
土山 瑛人	42	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
山本 真司	45	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
平岡 拓篤	49	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	2	0
鈴木 宙仁	73																	
高橋徳乃心	*79	5	0	0		1	3	33%	3	6	50%	5	4	0	2	3	3	2
山下 巧稀	*81	13	0	0		6	8	75%	1	2	50%	1	0	0	1	1	1	3
武井 春磨	82																	
コーチ 高瀬 俊也																		
合計		73	3	12	25%	27	44	61%	10	20	50%	10	28	9	6	10	22	10

県立日川(山梨)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
三枝 尋斗	*0	15	5	10	50%	0	3	0%	0	0		1	4	1	0	0	1	3
河野 拓真	*1	2	0	5	0%	0	2	0%	2	3	67%	0	1	3	1	0	0	2
杉山 友哉	2	3	1	1	100%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
中村 優斗	3	8	0	0		4	5	80%	0	1	0%	0	0	2	2	0	3	3
橋本 勇太	4																	
奥脇 璃人	*6	3	1	1	100%	0	1	0%	0	0		0	0	0	2	1	2	0
鈴木 達也	12																	
米山 春陽	15																	
滝田 雄大	19																	
萩原 諒(CAP)	*20	18	1	3	33%	6	20	30%	3	4	75%	1	0	2	4	0	3	3
廣瀬 晴信	23	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
萩原 圭祐	34	4	0	2	0%	1	3	33%	2	2	100%	0	0	0	1	1	0	1
松永 敏音	59	3	1	3	33%	0	1	0%	0	0		0	1	0	2	0	2	1
竹島 賢太	*91	0	0	2	0%	0	2	0%	0	0		2	3	0	4	0	4	4
加々美 亜夢	99	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
コーチ 古田 厚司																		
合計		56	9	27	33%	11	38	29%	7	10	70%	4	9	8	16	2	15	17

得点経過

● 県立日川(山梨) ◆ 実践学園(東京)



戦評

1Q 実践学園はオールコート、日川はハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。日川はスペースを広く取りゴールヘアタックルできているが、シュートが入らず徐々に実践学園にリードされ、残り5分、日川高校タイムアウト。その後、実践学園が6点リードしたまま一進一退の攻防が続くが、日川#6がプザービーターの3ptsを決め、16-13実践学園リードで終了。

2Q 実践学園は強度の高いディフェンスからターンオーバーを誘発し、速攻で得点を重ねていき、対して日川はハーフコートオフェンスでじっくりと攻める。日川#0の3ptsを皮切りに、日川のディフェンスリズムがでけると、実践学園からターンオーバーを誘発させ、速攻で得点を重ね逆転に成功。30-28日川リードで終了

3Q 立ち上がりにリズムを掴めない実践学園は、1-2-2ゾーンプレスディフェンスでプレッシャーをかけ、逆転に成功する。残り8分、日川がタイムアウトを取り、その後一進一退の攻防が続くが、実践学園のプレッシャーが徐々に効きはじり、51-45実践学園リードで終了。

4Q 変わらずオールコートでプレッシャーをかける実践学園は、リズムをつかみ残り7分で10点リードする。その後お互い譲らない攻防が続くが点差は変わらず、残り6分日川がタイムアウト。しかし実践学園が徐々に点差をひろげていき、残り3分、日川はオールコートディフェンスで逆転を狙うが、実践学園#37の冷静なボール運びと、#15のリバウンドでさらに差を広げ、73-56で実践学園が勝利。